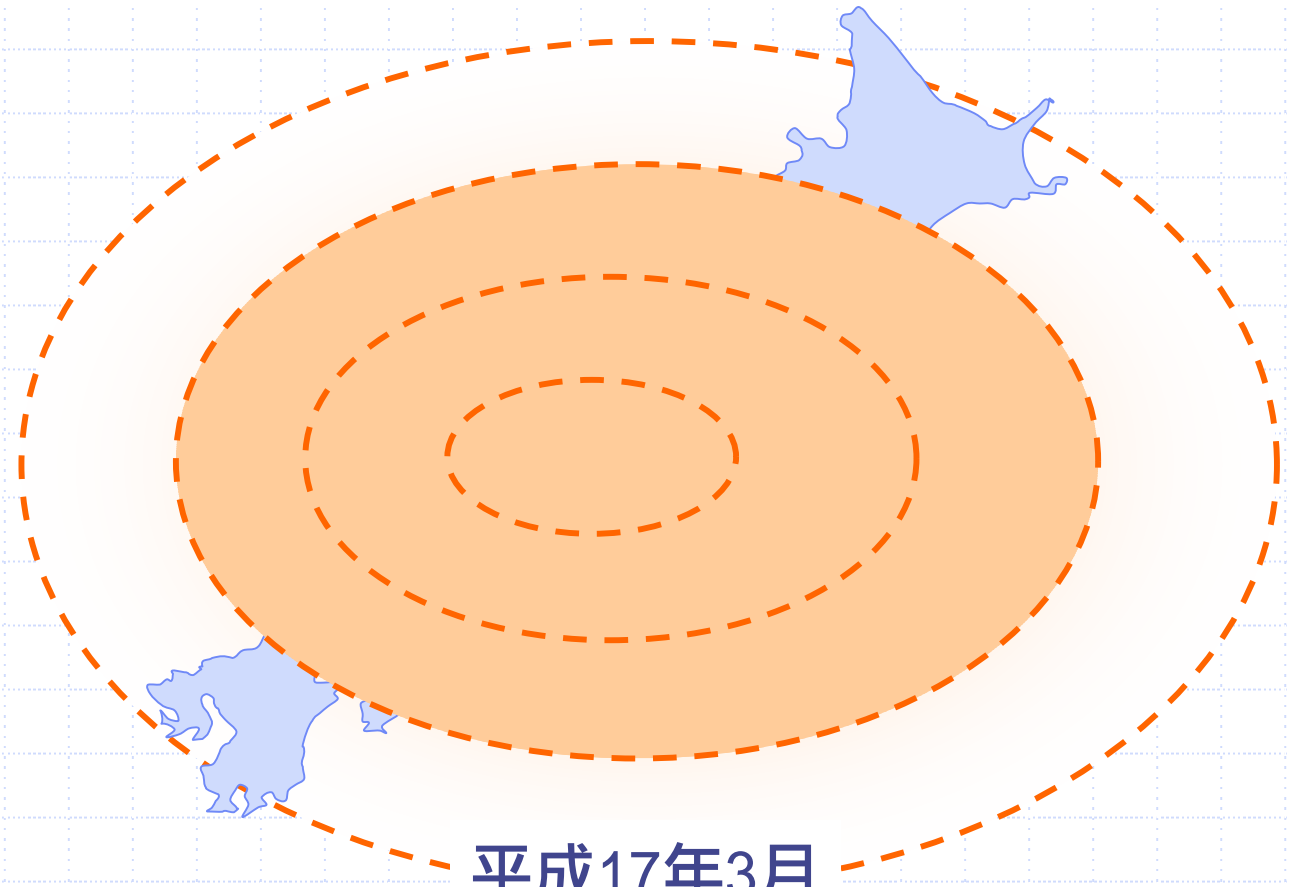


石川県産業革新戦略 最終報告サマリー

石川地域経済圏構想 ~ 内なる高度集積と外への飛躍的展開 ~



平成17年3月
石川県

目次

1.	策定過程	3
2.	革新戦略策定に当たっての基本姿勢	4
3.	戦略の背景	5
4.	地域間競争を勝ち抜くための本県の強みと課題	6
5 - 1.	戦略の構造	7
5 - 2.	戦略推進体系	8
6 - 1.	3つの石川ブランドの連携新産業	9
6 - 2.	3つの石川ブランドの連携新産業	10
6 - 3.	3つの石川ブランドの連携新産業	11
6 - 4.	連携新産業創造を目指す一貫した支援体系の構築	12
6 - 5.	次世代型企业育成プログラム	13
7.	戦略的企業誘致の推進	14
8.	産業人際 of 総合的育成・確保プログラム	15
9.	推進体制の整備	16
10.	戦略の展開	17
11.	石川地域経済圏の構築	18
12.	中間報告以降の見直し内容	19

1. 策定過程

産業革新戦略会議

第1回 H15.11.27

〔産業構造分析〕
〔戦略策定の方向性〕

徹底した
データ分析

- ・独自の地域力分析
- ・競争力・産業連関分析
- ・個別産業分析
- ・地域分析

第2回 H16.03.23

〔地域力測定指標〕
〔将来の経済社会構造〕

徹底した
現場主義

- ・個別ヒアリング
90回余 (150時間)
- ・作業部会 (WG)
16回 (30時間)

第3回 H16.10.08

-中間報告-

徹底した
県民参加

- ・タウンミーティング
15回 (約1,000人参加)
- ・パブリックコメント
H16.4 ~ H17.3 143件

第4回 H17.03.23

-最終報告-

2. 革新戦略策定に当たっての基本姿勢

基本姿勢

県の役割の明確化

地域の運営主体としての
県自らの役割を強く意識

具体的な
行動内容の提示

(実施主体、内容、
スケジュール、活動目標)

実効性の確保

段階的な目標設定
と評価の実施

激動する経済環境
に柔軟に対応

3. 戦略策定の背景

H7年「産業高度化10ヵ年戦略」策定

地場産業の高度化

新規創業支援

企業誘致の推進

10年経過

主たる成果

ニッチトップ企業数
40社(全国3位)
産学共同研究活性化
共同研究数倍増
(1998:217件 2003:407件)

ベンチャー等創造的
企業**112社**育成
ベンチャー発展の基盤整備
ISICO、石川ファンド、クワイラボ、
フロンティアラボ

誘致企業 **110社**
(誘致条例制定以降)
工業出荷額 3,900億円(県全体の17%)
雇用創出 12,000(製造業の12%)、
下請け・外注額 260億円

石川地域経済 の現状

地域力分析

過去15年堅調推移

1985-2001 15位

近年の産業活力鈍化

1999-2001 30位

上場企業数の伸び悩み

新規開業率の低下 (1994:4.1% 2001:2.9%)

若年者のモノづくり産業離れが進行
(離職者の3割が他産業に流出等)

危機意識

地域経済環境の変化

地域間の経済競争の激化

各地域でクラスター形成や特区など新産業の拠点化を目指す動きが活発

企業が地域を選択する時代に

市場のグローバル化・ニッチ化

アジアは生産拠点から成長市場

国内企業の高付加価値化・ニッチ化

人口減少時代の到来

本県の生産年齢人口は、今後10年間で11%減少
人材確保が益々困難に

産業革新戦略

4. 地域間競争を勝ち抜くための 本県の強みと課題

強み

産業 インフラ

地域力分析
全国 23位

基幹産業であるモノづくり産業が堅固
(一般機械、電気機械、電子機械、繊維、食品)
独自の技術を有するニッチトップ企業が集積
(40社:全国3位)
情報サービス産業が集積
(91社:人口当たり全国3位)

社会 インフラ

地域力分析
全国 6位

ハードインフラの整備
(H15 能登空港開港、H26 北陸新幹線金沢延伸)
インフラの質的向上
(H16 ソウル便増便、小松 - 上海・成田定期便 JGN 運用開始)
(H17 上海航路定期便)

生活 インフラ

地域力分析
全国 3位

高等教育機関が集積
(19校:人口当たり全国3位)
H17 県立大学開学
厚みのある伝統文化
(国指定伝統的工芸品 生産額全国2位)
特色ある食材が豊富
(加賀野菜、いしる、能登牛カニ、寒ブリ等)

課題

産業間の生産誘発効果が
全国比 1,500億分小さい
(GDPベース)

産業間連携が弱い

社会ニーズの変化に対応し、
内外からの産業構造の革新が必要

▼ **本県の強みを活かした新産業の創造と企業誘致**

移出率(1992 2001年)
36% 31%
全国 27位 32位

対外競争力が低下傾向

グローバル時代に対応し、
本県経済を牽引する企業の輩出が必要

▼ **選択と集中による産業振興**

生産年齢人口
(2005 2015年)
65% 60%

人材確保に苦慮

人口減少時代に対応し、
産業人材に関する抜本的な対策が必要

▼ **人材の育成、確保に関する総合的な取組**

5 - 1 . 戦略の構造

石川ブランド経済の創造

連携新産業の
創造

次世代型企業
の育成

戦略的企業誘致の
推進

産業人材の総合的
育成・確保

外部活力の導入

新産業の創造

選択と集中

産業人材対策

課題

内外の産業間連
携が弱い

対外競争力が
低下傾向

人材確保に苦
慮

環境変化

地域間経済競争
の激化

市場のグローバ
ル化・ニッチ化

人口減少時代
の到来

5 - 2 . 戦略推進体系

戦略

連携新産業
の創造

石川ブランド経済の創造

次世代型企業
の育成

戦略的企業誘致の推進

産業人材の
総合的育成・確保

目標

予防型社会創造産業

地域ブランド創造産業

豊かさ創造産業

ニッチトップ企業倍増

ベンチャー企業上場倍増

全国モデル企業創出

誘致企業による本県
経済の活性化

産業人材の質的向上

高度な産業人材の誘致

産業人材の裾野の拡大

柱となる施策群

全県縦断キャラバンによる連携ニーズ・シーズの掘り起こし

連携促進の場としての「プラットフォーム」の整備

連携新産業創造を目指す一貫した支援体系の構築

大規模プロジェクトの積極的な活用

連携新産業に係る創造拠点の形成

オーダーメイド型の集中支援・育成

県内外の一流の専門家との独自ネットワークの構築

技術力強化への支援

全国的・国際的な展開への支援

知的財産の戦略的活用

戦略的企業誘致の推進

大型設備投資への対応

次代を担う経営人材の育成

高度な専門技術を有する人材の確保

若年者の就業促進

企業OB人材や女性、高齢者の活用

目標 (2015F.Y.)
売上創出 1,000億円
新規雇用 7,200人

予防型社会創造産業

～ 医薬農工連携して安全・安心・健康・予防で活力ある社会に貢献～

診断機器ビジネス

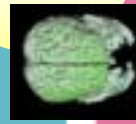
医用診断機器



高度先進医療ビジネス



脳健診ビジネス



診断方法

医療技術



予防型社会創造産業
クラスターを形成

サービスビジネス

健康サービス

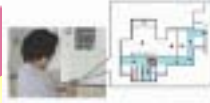
健康モニター先端機器/
ウェアコミュニケーションツール



健康増進ビジネス



在宅医療サービス

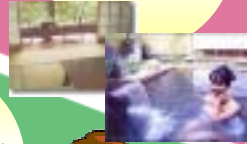


保険ビジネス

集客交流サービス
癒しプロトコル

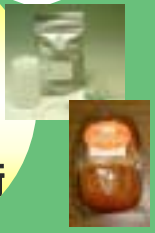


医療観光ツアー



機能的食品

成分解析技術



医薬食品ビジネス

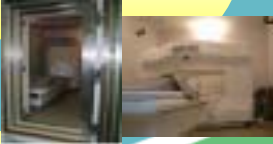
抗酸化野菜化粧品



食物原料化粧品



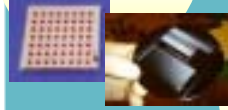
情報統合/
電子カルテ
診断技術



診断薬



高機能
バイオセンサ



簡易診断
キット



アジアマーケットへの展開

- ・高齢化社会の急激な進行
- ・富裕層の拡大
- ・圧倒的な市場規模



地域ブランド創造産業

～ 1次・2次・3次産業の連携による6次産業の創出～

他の農産物等へのブランド力の波及
同じものなら石川産

外食産業との連携による新たな食文化の発信
地名と食品がダイレクトにイメージ



1次
豊かな食材



飲食業

マーケティング

- ・特産物(加賀野菜等)のブランド力UP
需要増加、付加価値上昇
- ・加工食品材料としての利用
安定需要(量・価格)

出版・印刷



広告

デザイン

産学・産業間連携による高付加価値化

県立大学等4大学による大学連携インキュベーションでの研究・開発拠点形成
例えば・バイオテクノロジーを活用し、能登特産品や加賀野菜から有効成分を抽出、精製し、サプリメント等の健康食品を開発、また原材料そのものの差別化

- ・石川ならではの健康食品の開発
安定需要(量・価格)
- ・新製品大量生産のため、新たな加工技術、機械のニーズ発生
機械分野の需要増

- ・環境配慮型サービスの提供
- ・新たな観光資源
(グリーンツーリズム、産業観光等)
- ・新製品開発による、デザイン、パッケージ等の新規需要

3次
サービス産業
観光



2次
食品加工
食品機械

他の地域での同様の取組みへの展開
加工技術、食品機械の移出・輸出

交通サービス 温泉旅館

「食」は観光目的の要の1つ
観光誘客の増

目標 (2015F.Y.)
売上創出 800億円
新規雇用 4,600人

豊かさ創造産業

～地域の独自性と先端技術の融合により心の豊かさを創造する産業～

おんしんちこ

温新知故産業

伝統産業と先端技術の融合
による攻めの伝統産業

- ・IT技術と連携し新たなデザイン開発手法(デジタルショールーム)を開発し運用
- ・製造技術と連携し工芸素材の新たな用途を開発
- ・ナノテク技術と連携し新素材を開発

ソフトパワー産業

石川の文化のもつソフトパワーを映像コンテンツの活用により発信する産業

石川新情報書府3期構想の推進

- ・ハイビジョンによる石川映像アーカイブス構築
- ・映像素材の流通システムの構築によるビジネス化
- ・国内外でのビジネスプロモーション展開

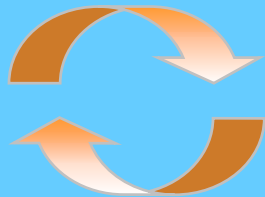
せんしん

織新産業

デザイン産業等との連携による高付加価値繊維産業

- ・ビジネスクリエーターの養成
- ・IT業界と連携したメーカーズブランド育成
- ・欧米のラグジュアリーブランドとの連携によるテキスタイルの高付加価値化
- ・有望産業との連携による産業資材分野への展開支援

石川のアイデンティティ(独自性)
(文化・伝統・特色ある産業)



先端技術

連携産業への重点化

選択と集中

マッチング

新
マッチング
の推進

発掘キャラバン

コーディネート
協議会

マッチング研究会

発掘に
注力

可能性調査

製品化・事業化
につながる研究
開発の支援

新

国家プロジェク
トにつながる研
究開発の支援

研究開発

新技術・新製
品の研究開発
に対する支援

補助率: 1/2
最 大: 1,000万

**大規模なナショナ
ルプロジェクト**

・地域新生コンソ
ーシアム
・都市エリア産学
官連携促進事業

実用化研究

新
研究開発成果
の実用化支援

補助率: 2/3
最 大: 4,000万
(2年間)

事業化

新
金融支援
メニューを
用意

低利融資: 1.5%
設備貸与利子
補給: 2.00%
等

販路開拓

現状

- ・シーズ中心の審査
- ・事前審査の重視
- ・各機関ごとの支援

- ・事業化までを見据えたマーケットサイドからの審査
- ・評価、フォローアップを含めた個別的・一貫的支援
- ・組織横断の個別チームによる支援体制(チーム石川)

- 5 次世代型企業育成プログラム

ニッチトップ企業数 **倍増**
(40社 80社)
ベンチャー等新規上場数 **倍増**
(10年間で10社上場)

内外一流専門家 ネットワーク形成

- ・幅広いネットワークを持つコンサルタント
- ・IPOの実績を持つ公認会計士
- ・成功体験のある経営者
- ・大手メーカー出身のMOT人材等

スーパー アドバイザー ネットワーク



全国に先駆け一気通貫の 支援体制構築

ニッチトップ企業
新産業・新ビジネス分野の
全国モデル企業
上場ベンチャー企業

- ・目利き
- ・アドバイス
- ・専門家の紹介等

オーダーメイド型重点支援

支援チームを結成し、支援計画を策定。
企業毎のオーダーメイド支援を実施

目利きによる企業の認定

専門家の目利きにより、年数社程度の
企業を認定。認定企業は県が公表

企業の公募・発掘

随時参加企業を公募するほか、
発掘キャラバンによる積極的な案件探しを行う

- ・ファンド
- ・研究補助金
- ・技術者派遣
- ・専門研究者の紹介等

個別支援
チーム
「チーム石川」

県

工業試験場

ISICO

関係部局

関係機関

1企業
1チームによる支援



7. 戦略的企業誘致の推進

税金・雇用の拡大ほか、

先端的研究者などの高度人材流入

地域のブランド価値の向上

クラスターの形成

県内産業の高度化 など

地域経済の活性化にとって大きな波及効果が期待できる

戦略的企業誘致

(a)大型プロジェクトの立ち上げ効果による企業誘致

(b)大学研究者ネットワークを利用した外資系・国際企業の誘致

(c)物流センター等サービス分野の企業誘致

大型設備投資への対応

知事特認制度(市町村と合わせて最大35億円)

ナショナルプロジェクト

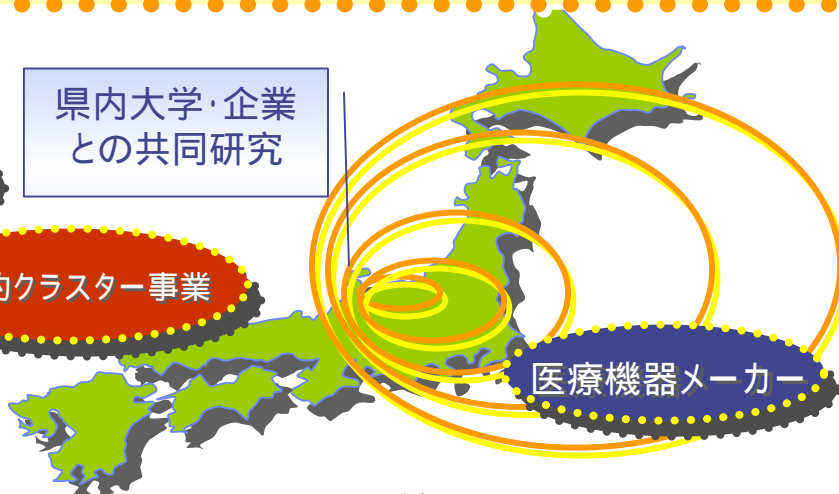
県内大学・企業
との共同研究

知的クラスター事業

医療機器メーカー

先端的研究所

<イメージ>



5. 産業人材の総合的育成・確保プログラム

人口減少社会では、産業活力の源となる人材の維持が重要な課題
3つの観点から、**産業活力を支える人材を総合的に育成・確保**

(1) 産業人材の質的向上

次代を担う経営人材の育成
技術人材の育成

「地域経営塾(仮称)」
工業試験場における実践的技術指導の拡充

(2) 高度な産業人材の誘致

高度な専門技術を有する人材の確保
相談窓口の設置、首都圏の人材紹介会社とのネットワーク構築
長期インターンシップ制度の導入
全国に先駆け専門家人材のネットワーク構築
県内外の一流の専門家を幅広い分野から選定、登録

(3) 産業人材の裾野の拡大

若年者の就業促進

- 若者しごと情報館・ジョブカフェ石川の機能強化
- 若年者の職場実習
- 就職準備講座の開催、就労意欲や社会性に乏しい若年者の職業的自立支援

企業のOB人材や女性、高齢者の活用
コミュニティビジネスの振興、創業の支援、
OB人材の活用推進

9. 推進体制の整備

革新戦略推進デスクを設置

デスク長
商工労働部企画調整室長

事務局: 産業政策課内

産学連携サポートデスク

産業政策課、ISICO、工業試験場 + 連携機関
+ コーディネータ協議会、マッチング研究会

新連携支援
チーム

コーディネート
チーム

キャラバン
チーム

... などテーマに応じた個別チーム
(チーム石川)

産業人材サポートデスク

産業政策課、産業立地課、労働企画課、工業試験場 + 連携機関

経営人材育成
チーム

高度人材確保
チーム

キャラバン
チーム

... などテーマに応じた個別チーム
(チーム石川)

評価委員会など外部評価を活用

5つの「場(プラットフォーム)」

政策

政策レビュー、
専門人材
ネットワーク

企業連携

プレジデンシャル
サロン、
新連携支援事業

経営

地域経営塾(仮称)、
E-ビジネスライアル

技術

コーディネート協議会、
マッチング研究会
産業大学講座、
つくば交流事業

人材

長期インターンシップ、
産学連携製造現場
中核人材育成事業

3つの「対話」

発掘
キャラバン

ワンストップ
窓口
(国際ビジネス
サポートデスク等)

地域別
産業活性化
ミーティング

0. 戦略の展開

石川県産業革新戦略の推進によって(推計)

GDP 約3,000億円規模を創出(県内GDPの約6%相当)
 新規雇用 約26,000人創出

うち	連携新産業分	GDP 1,400億円	新規雇用 16,000人
	次世代型企业分	GDP 1,200億円	新規雇用 6,500人
	戦略的産業誘致分	GDP 400億円	新規雇用 3,500人



中間レビュー

- 評価委員会を開催し、
- 各プロジェクトの進捗状況を確認。
- 個別施策の見直しを実施
- 翌年度以降の事業に反映。

中間評価

- 評価委員会を開催し、
- 中間点での目標の達成状況を確認。
- 目標設定等の見直しを含む、施策評価を実施。
- 後期アクションプランを策定。

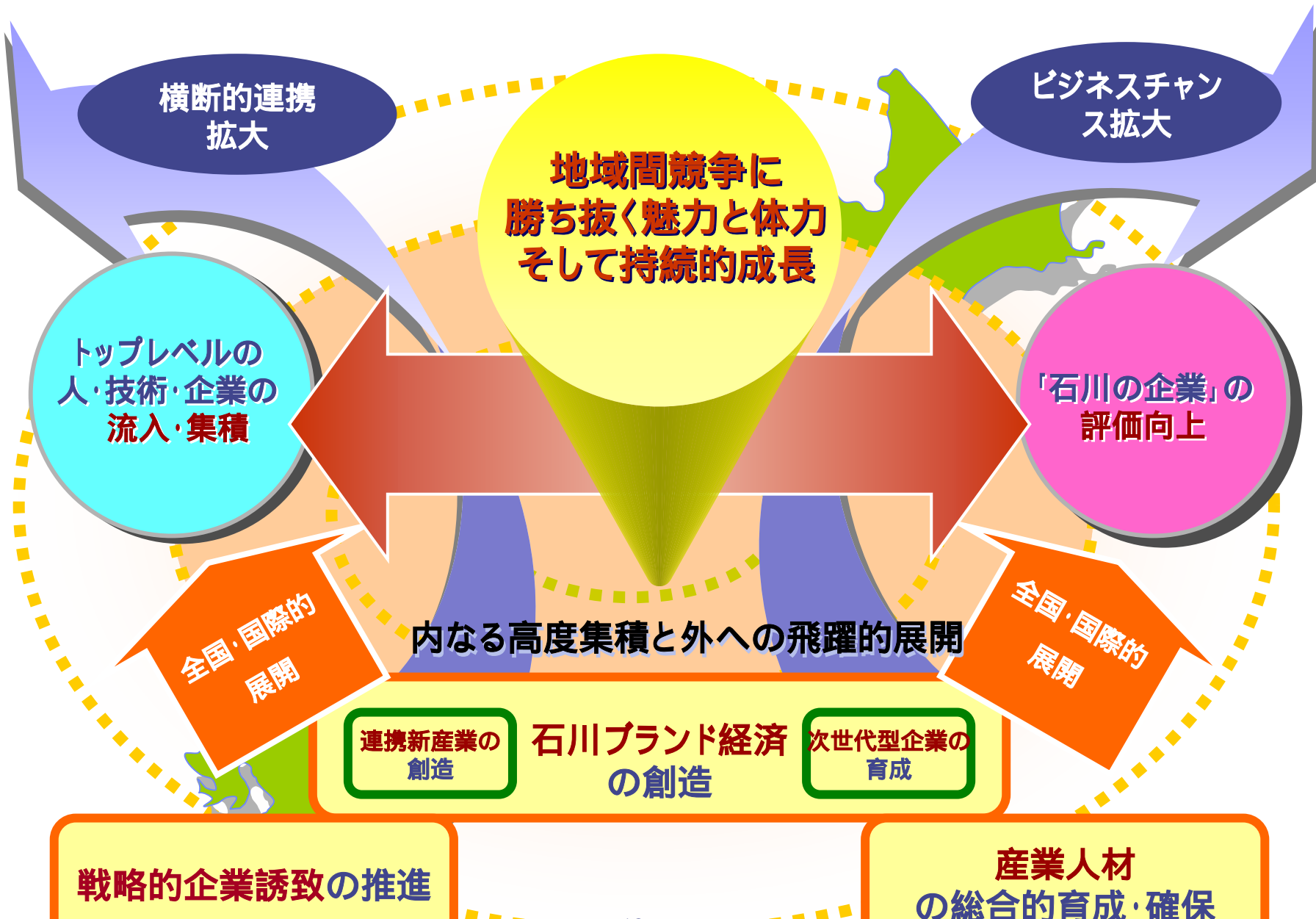
中間レビュー

- 評価委員会を開催し、
- 各プロジェクトの進捗状況を確認。
- 個別施策の見直しを実施
- 翌年度以降の事業に反映。

最終評価

- 定性目標の評価。
- プロジェクトの波及効果確認。

11. 石川地域経済圏の構築



12. 中間報告以降の見直し内容

中間報告以降

追加修正

タウンミーティングでの声

能登の農産物や海産物
を使って何かできないか。
(能登地域でのTM)



能登の自然を生かした
プロジェクトに期待。
(能登地域でのTM)



伝統産業と先端材
料を融合したような
産業に期待。
(金沢地域でのTM)



専門用語やカタカナが
多いなど、一般県民に
は分かりにくい。
(金沢地域でのTM)

健康・観光・地元の素
材等を上手く関連づけ
たサービス産業に期待。
(加賀地域でのTM)



加賀地域は日本の文化や
歴史が集積しており、質の
高い観光地を目指すべき
(加賀地域でのTM)



追加

産業人材対策と企業誘致
の推進

修正

地域関係機関(商工会議所、
商工会、市町村等)と連携し
地域特性に応じたプロジェク
ト推進

追加

サービス産業の振興

観光産業(H17.3 新ほとと石川観光プラン策定)
コミュニティビジネス等

その他、表現や名称を分かりやすく変更するなどの
修正を行なった